

## ～当院での無痛分娩の流れ～

### 妊婦健診

主治医に無痛分娩の希望があると伝えて下さい



主治医が適応を確認し予約します



血液検査・麻酔科の診察を受けます(自費)



主治医より誘導分娩等の説明を受けます

### 入院

#### 日曜日

14時00分 8階南病棟に入院します  
分娩監視装置を装着します  
診察後、必要に応じ頸管拡張します  
・シャワーや食事は自由に過ごすことができます

#### 月曜日

5時30分 分娩室に入室します  
6時00分 診察後、陣痛促進剤を内服します  
9時00分 診察後に点滴による陣痛促進剤  
の投与を行います

分娩の進行や痛みに合わせて  
無痛分娩を開始します。

当日の分娩が見込めない場合は  
無痛分娩は終了します。

～メモ～

## 無痛分娩のご案内

当院で  
無痛分娩（麻酔による産痛緩和）  
を開始します。



産科・麻酔科・小児科



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立医療センター  
Kitakyushu Municipal Medical Center



住所 〒802-8561 北九州市小倉北区馬借二丁目1番1号

最寄り駅 北九州モノレール「旦過駅」から徒歩2分

TEL 093-541-1831(代表)

FAX 093-533-8693

# 無痛分娩とは

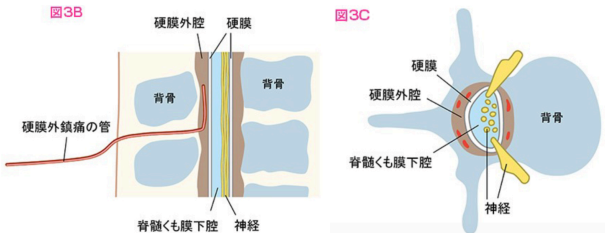
麻酔を用いて産痛を緩和(鎮痛)しながらお産をすることです。

当院では硬膜外麻酔または脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔による産痛緩和を行います。

また陣痛促進剤を用いて計画無痛分娩のみで対応します。

★麻酔は当院麻酔科専門医が穿刺・管理します

- ・硬膜外鎮痛法は背骨にある「硬膜外腔」という部分に細くて柔らかい管を入れ、管から薬を注入し痛みを和らげる方法です。
- ・脊髄くも膜下硬膜外併用鎮痛とは、「脊髄くも膜下腔」と「硬膜外腔」の両方に薬を投与し、産痛を抑える方法です。



～過ごし方と注意点～

- ・麻酔を行う際は座位となります。
- ・麻酔後はベッド上で過ごします。
- ・無痛分娩中は血圧、酸素飽和度の測定し、胎児心拍は連続モニタリングを行います。
- ・無痛分娩中は絶食ですが、水・お茶は飲むことができます。
- ・トイレに行けないため、導尿します。

## 利点

- ・硬膜外麻酔による鎮痛効果は強く、痛みを軽くすることができます。
- ・産後の疲労を軽減します。
- ・お母さんの神経に直接作用するため、赤ちゃんへの影響はほとんどありません。

## 起こりうる問題点

- ・お産が長引くことがあり、吸引分娩を必要とする可能性があります。
- ・血圧が下がることがあります。
- ・下半身に力が入りにくくなることがあります。
- ・尿意が感じにくくなることがあります。
- ・顔やからだがかゆくなることがあります。
- ・熱が出ることがあります。
- ・お産後に頭痛を起こすことがあります。
- ・カテーテルが血管内やくも膜下腔に迷入することがあります。

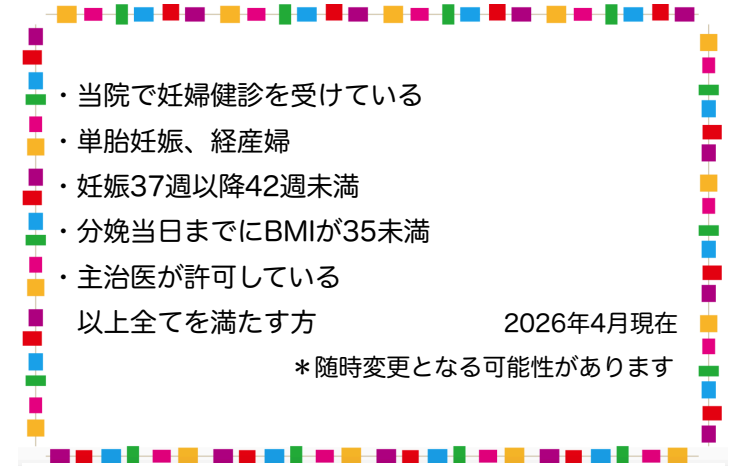
★詳しく無痛分娩について知りたい方はこちらのURLをご参照ください。

一般社団法人 日本産科麻酔科学会 無痛分娩Q&A  
<https://www.jsap.com/general/painless>

参考：

- ・一般社団法人 日本産科麻酔科学会 無痛分娩Q&A
- ・硬膜外無痛分娩 第4版 安全に行うために 照井克生・野口翔平(著)

## 当院での無痛分娩が対象となる産婦さん



- ・当院で妊婦健診を受けている
- ・単胎妊娠、経産婦
- ・妊娠37週以降42週未満
- ・分娩当日までにBMIが35未満
- ・主治医が許可している
- 以上全てを満たす方

2026年4月現在

\* 随時変更となる可能性があります

- \* 計画無痛分娩のみです。
- \* 先着順で予約を行いますので、主治医に希望を伝えて下さい。

- \* 麻酔前検査(血液検査)として費用がかかります。
- \* 無痛分娩外来の費用がかかります。
- \* 無痛分娩費用は10万円(自費)です。(麻酔を受けた時点で費用は発生します)
- \* 基礎疾患等がない方の総分娩費用は約70万円(無痛分娩、誘導分娩を含む)がかかります。
- \* 基礎疾患等がある方は総分娩費用は公的医療保険が適応され、これに加えて無痛分娩費用が別途合算されます。

当院ではお母さんと赤ちゃんの安全を第一に全身状態に十分に注意し無痛分娩を提供します。